



CLLクラブ会報 9月号

Vol.122 発行日 2013年9月1日
チェンマイロングステイライフの会
ナコンピンコンド1階
Tel. 053-404155
ホームページ <http://ccl-thaijp.com>
監修：世話人会 発行：広報部
本誌からの無断転用をお断りします

スイス旅行 山本勝也・啓子

7月6日から3週間、スイスに行ってきました。グリンデルワルト、ツェルマット、ポントレジーナ（サン・モリッツの近く）の3カ所に1週間ずつ滞在。それぞれの場所で、天気の良い日に3回ずつハイキング、天気の悪い日は、ベルン、ジュネーブ等の街歩きをする計画でした。幸い天気にめぐまれ、計画した9回のハイキングはすべて快適に実行することができました。



マッターホルン

2年前から計画、1年前に宿の予約をしました。計画は、滞在型旅行。自炊ができるように、「ホリデーアパートメント」を利用することにしました。土曜から土曜までの1週間単位で借りれるコンドミニアムのようなもので、キッチンには調理器具から食器類がすべてそろっています。言葉の出来ない私たち2人だけの旅ですので、なにかあったとき「お助け」をお願いできるように、宿は、3カ所とも、グリンデルワルトの「日本語観光案内所」を通して予約しました。

フライトは、バンコクからチューリッヒをスイス航空で往復。行きは、フライレールバゲージを利用、バンコクで預けたスーツケースをグリンデルワルトの駅で受け取るようにしました。チューリッヒ空港には朝の6:10に着きましたが、荷物を取る必要がないので、空港からスムーズに移動でき、最初の目的地、ルツェルンに着いたのが8時半。毎週土曜日に開かれる朝市や旧市街、そして美術館と、ゆっくり街歩きができました。帰りは、チューリッヒ発 22:45の便でしたが、チェックインサービスを利用。朝、サン・モリッツの駅でスイス航空のチェックインをすると、搭乗券をくれ、スーツケースはそのままバンコクまで届く。夜のチューリッヒ空港では搭乗ゲートへ直行できるので、帰りの時間に余裕ができ、スイスに着いた日の朝、素通りしたチューリッヒの街と美術館をゆっくり見てまわることができました。

スイス国内の移動は、スイス・セーバーパス（2人同時に移動）22日間を買いました。チューリッヒに着いた6日の朝から帰り27日の夜まで有効、湖の船や市電・市バスも使用でき、山岳鉄道やロープウェイは半額。それに、ほとんどの美術館・博物館が無料で入れます。氷河特急、ベルニナ特急、ゴールデンパスラインなど空まで見える大きな窓のパノラマ列車の眺めは抜群でしたが、普通列車にも何度も乗れるので、無人駅で下車し、世界遺産のループ橋を通る列車撮影にもチャレンジしました。9日間のハイキングでは、大自然に身を任せ、マッターホルンを眺めながらのおにぎりの味もまた格別でした。あれこれと、ツアーでは味わうことができない、ゆっくりと気ままな旅は最高でした。



グリンデルワルトの宿



ベルニナ特急の車窓から



ツェルマットでのハイキング

<2013年8月3日(土) 定例世話人会>

1. 前回の議事録・・・了承
2. 会員動向 個人会員：157名 法人会員：8社
3. 各世話人連絡・お知らせ事項
4. 本日午後の月例会進行について
5. その他;法人会員募集について;
木村代表よりCIFを法人会員になるようコンタクトしたい。
本件、了承された。

第5回 CLL活動を考える会の検討内容
開催日時 2013.07.20(土) 16:00～17:00
討議内容:
会則5章の世話人第10条(定数・選挙)について

<2013年8月17日(土) 定例世話人会>

1. 前回の議事録・・・了承
2. 会員動向 個人会員：160名 法人会員：8社
3. 各世話人連絡・お知らせ事項
4. 本日午後の月例会進行について
5. CLL9月～1月までのイベント開催予定内容検討と
担当世話人の確定
6. CLL会則と選挙管理規定の改訂内容の検討

CLL活動を考える会は第5回で内容検討を終了し、
以後、結果を基に規約改正に向けた作業を開始すること
を了承した。

《第一定例会》 8月3日(土)

<各部報告>

事務局

会員動向 個人会員：157名 法人会員：8社

広報部

- ・ レストラン案内(イタリアン・中華・韓国料理編)
- ・ 11/16-18 ロイクラトン・パレード参加の呼びかけ
- ・ 11/24 3人の王様広場で盆踊り開催予定

業務部

- ・ ランプーン小旅行について富谷会員より説明
県会議長、商工会議所の仲介で先着10名を募集
- ・ CM International Health Promotion MTG 参加者募集し、
ラジャヴェー病院に連絡
- ・ 健康診断;9月の申込者は11名。ラジャヴェー病院に視力・
聴力の詳細結果の記載を要望
- ・ 山本敏幸会員運営によるサンファンサンティパーブ(財)
施設訪問を企画したい。

文化部

- ・ ユパラット高校日本語コンテスト地区予選
7/26 黒木・山本(敏幸)両会員が審査委員として参加
- ・ 8/16 北タイ予選、3名の審査委員を募集します。
- ・ 7/28 お食事会36名参加。非常に好評でした。
- ・ 9/13 サンクラフトドール講習会予定

運動部

ゴルフコンペ、8/22(木)ランナーゴルフ場にて開催予定

講演会 厚生管理局 Dr.ワタナ・カンチャナ・カモン氏

『野菜・果物の農薬と除去について』

例会会場にて多数の出席者が、体内にどれだけ残留農薬が滞留しているかを計測する血液検査を受けた。検査結果は翌朝Jマーケットの安全野菜市会場にて通知とのこと(ソウテウによる送迎あり)。講演では、安全野菜を見分けるための各種表示マーク、野菜・果物から残留農薬を除去する方法等の説明があった。また、残留農薬の体外への排出を促すハーブ茶の販売もあり、多数の会員が購入した。

《第二定例会》 8月17日(土)

<各部報告>

事務局

会員動向 個人会員:160名 法人会員:8社
事務所使用時間割表、今年度組織表の資料配布

広報部

日本⇄タイ国際通話の格安接続方法の資料配布

業務部

- ・ 小旅行その1: 8/18-19 ランプーン、先着10名は満席
- ・ 小旅行その2: 9/09-9/12 アンコールワット3泊4日
を募集
- ・ 健康診断:9月の申込者は11名。10-11月分を募集
- ・ チェンマイ大学人文学部日本研究センター主催の講演
「和食と健康」(CLL 共催)
日時: 9月18日(水)10:00-12:00
入場無料(予約不要)
講師: 渡邊 敏明教授(兵庫県立大学環境人間学部)
(講義の後で和菓子の試食あり。イベント会場で CLL 会
員の餅つきイベントが有ります。)
- ・ JJ マーケットで有機野菜の販売が行われます。
開催日 8/19、25(25日には鮮魚も販売予定で、
同日朝10:00にオーキッドホテルから直通ソング
が運行されます。)

文化部

- ・ 8/16 ユパラット高校で日本語コンテストが開催され、
CLL会員3名が審査員として参加しました。
- ・ 9/13 第3回サンクラフトドール講習会を開催します。申し
込み締切りは9月の第一例会

運動部

ゴルフコンペ、8月22日 ランナーゴルフ場にて開催予定

講演会

久嶋繁会員『不都合な遺伝子を持ちながら長生きする方法』
加齢と遺伝子の働きの変化、痛風等の講義。また、痛風
に関して森田弥栄会員より詳細な情報提供もあった。

大西富美子会員『食物繊維は足りていますか?』

「食物繊維」を含めた6大栄養素に関する講義の後、大西
富美子会員が調理した繊維豊富な食材の美味しい料理各種
を例会参加者全員で試食させていただいた。

9月度例会講師の紹介

第一例会(9月7日) 講師: チェンマイ大学日本研究センター副所長 中井仙丈 博士
演題: 『日本研究センターに遊びに来ませんか?』

第二例会(9月21日) 講師: 東京海上火災保険(株)チェンマイ支店長 西田純敏氏
演題: 『交通事故対策は万全ですか?』

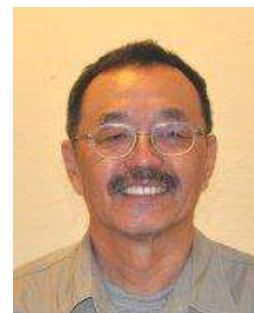
日本語コンテスト審査員

山本 敏幸

去る7月26日(金)チェンマイ県とメーホーソン県内の高校生らによる日本語コンテストがチェンマイ旧市内にあるユパラート高校にて開かれました。CLLからは黒木と山本両名が審査員を志願して参加しました。山本は初めての審査員体験だったせいか想像していたことと現実の違いが幾つかありました。

私としてはNHK素人のど自慢大会のように多くの審査員の前に一人一人高校生が出て来てスピーチし点数をつけるのかと思っていたところ、多くの部門別に高校生と審査員が分かれた教室でコンテストする分散型でした。私の場合、一つの教室に合計3名の審査員と5名の高校生が入り、一人一人スピーチしてもらい、アクセントや表現等5段階評価をしていき、一番点数の多い子が優勝という形式でした。

5名で一人3分間のスピーチ時間ですから1時間もしない内に控え室に戻れました。また、実際にやってみて分かったのですが、点数を付けるフォームが良く出来ていて現役の日本語教師2名と元教師の私の評価に差はありませんでした。また、審査員と高校生との間にタイ人の日本語教師が立っ



3名の審査員の方々

くれ通訳してくれるので、日本語しか分からない人でも出来ます。

もし次回日本語の審査員の募集がありましたらものおじせず皆様もトライして下さい。

ちなみに今回スピーチ部門の優勝者はユパラート高校の2年生男子でしたが、今まで私が接したタイの大学日本語学科の学生と比べてもすごくレベルが高いので驚きました。

今月の新着本より

『四日間の奇蹟』 朝倉 卓弥

サバン症候群の15歳の少女千織は、4, 5歳の知能しかないが、音楽に対する集中力・能力は天才的なものがあり、一度聴いた曲はほぼ間違いなくピアノで再現できるという不思議な力を持っている。

ある事件に巻き込まれ、指を失い、ピアニストとしての将来を絶たれ苦悩する天才ピアニスト如月。千織を引き取ることになった如月は、千織のサバンとしての能力を見つけ出す。

真理子は、学生時代の先輩でもある如月にずっと憧れていた。しかし、その想いは伝えることもできず今は、仕事に忙しい毎日を送っていた。

物語は、3人の出会い・事故を通して魂が入れ替わった千織と真理子の四日間の奇蹟の感動を伝えていく。

その中でも、真理子がずっと叶わなかった思いを如月に伝えてゆく過程は切なく哀しい。それぞれの思い・悲しみ・苦しみ・喜びが交差して不思議な世界がひろがっていく。

数年前に、吉岡秀隆・石田ゆりこ主演で映画にもなったこの作品は、読み終わると、温かな感動をのこしてくれていた。(K. K)

その時、私の未来にパースがあった（その1）

広瀬 寿武



<パースへの道の章>

私の祖先は狩猟民の祖族だったのか、私の DNA が日本から 8 千キロ以上離れた、日本の反対側、インド洋の洋々たる風と天高く極限の無い青い空に溶けたパースに心を鎮めた。パースの所在が意識の中で、頭の何処かに有った訳ではない。ゴールドコースト、ブリスベン、シドニーと徘徊に疲れ、シドニー駅で「さて今からどうしようか」と当ても無く時刻表に目を移した。「16 時 30 分、シドニー発パース行き、インディアンパシフィック。パース着三日後の 2 時 pm」

パースと！

そう言えば「世界で一番美しい町、パース」との、かの女史のコメントが過った。「乗ってしまえ」思慮の無い行き当たりばったり。既に日本を離れて 4 週間。女房子供と老齡の我が母の事なんか全く何処吹く風。個室寝台、バストイレ、3 食付き、昼夜を問わずバーは盛況。西洋人を仲間に極楽とんぼ。私 50 歳。夢も見ないで目覚めると、行けども行けども変わらぬ車窓からの景色。夜空には無数の黄色い穴だらけ。オーストラリアの広大さと夜の天空で満腹。1 人用の個室は通路を挟んで 2 部屋。荷物を整理していると「ハイ」と私好みの女性が気安い挨拶。オージーの気安さに慣れ始めていたが女性も同じか。車中の夢枕が、パースのステイに魅惑の日々をプラスした[easy going life] これがオージーのライフスタイル。この感覚が以後 25 年間のパース暮らしを支えた。

パース、5 時 pm。3 時間の遅れ、誰も文句は言わない。「三日も走っているのだから、3 時間位の遅れで人生は変わらない」がオージー感覚。降りた駅前に、幌馬車の馬が退屈そうに片足休めをしていた。西部劇で見た「駅馬車」そっくり。宿の予約が無い私と彼女、馭者任せの冗談の始まり。蹄の音を聞きながら「タイムスリップの時差」に違和感を覚えない自分を発見「ここに住んでみたい」が初印象。車は走っているが、ひどい中古車が殆ど。十日程、ぶらぶら。空と海との境目が無く解け合った蒼さ、白い砂浜のインド洋が限りなく続くビーチ。マリンスポーツの欲望（取って付けた理由）が「ここに住もう」にのめりこんだ。

私、まだ、男。妻 30 代後半、男児に女児の可愛い盛りの子供、70 近い母。何時帰るやら分からない、勝手な夫、父を待っているのに、パースで独身気取り。私の選んだ妻は母で有り、主婦で有り、私の人生を支える天女。自分本位な感情で「ここに住もう」と決めた所で「天女」は風来坊の男の思慮の無い「馬鹿さ加減」を理解しないだろうと思った。

<口説きの章>

オーストラリアは日本の 2.2~3 倍の広さ。人口 2600 万人。東京と大阪、神奈川県を合わせた位の人口。パースを首都とするウエスタンオーストラリア州は大げさに言えば「オーストラリアの三分の一」を占める広大な州。パース市の人口は現在 200 万~。産業は第一次産品、特に金、鉄鉱石等の地下資源を発掘。ケインズの理論から言っても、広大な土地に労働人口が少なく、生産企業はビジネスにならない。サービス業も同じ。例えば、車が故障をする、ディーラーに部品のストックが無いのが当たり前。在庫を置

いても商品化、現金化の効率が悪い。パースからシドニーに発注、延々と、一週間以上掛かって、届く。さて、車の修理完了は一月。経済と生産性、人間の生活スタイルは連動している。「急いでどうする、明日が有るよ」と、だが明日は何時になるのか？

5～27年前の日本は。

ケインズは経済の基本に人間心理、心情をプラスするのを忘れていたのか、人間欲望が日本経済を支配して泡の中に理論を包み込んだ。バブル経済は悪いわけではないが施政者の政策コントロールが重要になる。ここに移住する為の口説きの理由(1)を、我が経済学思考で。オーストラリア、当時、預金金利が16%と高金利。高金利収入を目当てに遊んで暮らせる、夢みtainな easy going life に、つい、誘われてもおかしくはない。(例えば)為替交換レート:AD\$1\$対110¥。一億一千万円送金すると=百万AD\$。金利収入:1千7百万\$。因に現在(2012年)1\$対90¥(当時購入した不動産価格:36万\$。6ベッドルーム、2ダイニング、バー付き、大きなトロピカルプール、深い池(金魚)、エアコン完備、2ガレージ(電動シャッター)、土地:約300坪。

移住への口説きの理由に、私もケインズと同じく、女の心理、心情を高利の計算と理論で丸め込もうとしていた。その時期、日本のバブル経済は80%、ピークまで後数年、強欲な強者はまだまだ上が有ると、日夜、数字の計算をしながら酒をあおり、ほくそ笑んでいた。この経済は將に、マネーゲーム。誰が考えても分かるのだが、欲が目先にあると思考が消滅するのにか?百万で購入した物件が一ヶ月で3百万になり、それを購入した



人は、いったい、幾らで売れるのか?また、第2、第3と周り、購入した人は、その原価計算でビジネスが成り立つのか?高価格で購入した物件にビルを建築したら賃貸料は?そんな高額な賃貸料を払って成り立つビジネスが有るのか?こんな簡単な理屈が分からなくなる。結局はマネーゲームで売り続けるだけのビジネス。最終的には「誰が婆を引くか」この結果も明らかなのに。登記費用も含め100%融資するからと、煽った銀行は悪いやつだと思っている。

口説きの理由その(2):タイミング的には販売可能なものは全て売る。婆を引かない為にも。私の経済思考の口説きはインパクトが有った。会社も家も他の不動産、動産も全財産を処分、あれよと言う前に、借金も含めて現金化した。だが、この口説きの理由、分かるようで分からない。天女と思考回路が違うのだから。だって「英語も分からないのにどうして生活するのよ。お婆ちゃん、病気したらどうするのよ」答えなんか無いものばかり。後で(パース移住後)知ったのだが、売った不動産(8千万)の一つの再売り価格が1千5百万に値下がり。「俺の経済感覚は学者以上だ」と空威張りがせいぜい。だが、もう一つ大きな理由が有る。当時、私は銀行に信用が有ったのか「広瀬さんの保証人なら」と会社経営の仲間達の保証人を引き受けていたが、彼等の欲に危険を覚え始めていた。その危険性を指摘しても「大丈夫!」と強気一辺倒。長年の仲間で持ちつ持たれつの時代も有ったので、断る重さが辛かった。そこで、保証人の印鑑を押す時期に近づくと、それとなく海外へ自己出張。妻の所へ行くが「夫が留守で分かりません」事実、仕事の事は知らないし、理解していない。でも何時もそうは行かない。バブル時期の保証金額は数億になる。保証人のリスクは高く、大きいと、私の経済思考は判断している。我が会社、個人資産が吹っ飛ばす恐れあり。帰国した私に「保証人の印鑑を欲しいって何人も来たわよ。困っていたわよ、気の毒に」「分かっている海外へ行ったんだよ」そのリスクを初めて話した。



親しい仲だけに妻も苦しい思いを共有して、一時期、仲間関係を断ち切る理由に「オーストラリアへ行く」を選んだ。タイミング良く理由が舞い込んだ。これも後日談。何人かは倒産、人に迷惑を掛けたと。もし、保証人になっていたら共倒れ、オーストラリアどころではない。

(つづく)

ゴルフコンペ8月の結果



第125回CLLゴルフコンペは、8月22日ランナーゴルフ場で開催された。参加者合計は、30名（ゲスト2名含）。成績は、下記の通り。

順位	名前	OUT	IN	GS	HC	NET
優勝	内藤 久義	47	53	100	30	70
準優勝	永島 和雄	44	44	88	17	71
3位	斎藤 勲	47	50	97	21	76



祝優勝 内藤久義さん

新入会員のご紹介

木屋 洋祐さん

人生の最後の地は、このチェンマイと決めています。
会員の皆様にお世話になります。よろしくお願いいたします。

出身地 高知県 香南市



須藤 榮子さん

1949年6月3日生まれで64才に成り第二の人生をチェンマイで過ごすことに成りました。今までの仕事が美容師でした。体をこわし息子に相談したところチェンマイを紹介され連れて来てもらいました。右も左も分かりませんが、よろしくお願いいたします。趣味は山歩き、ゴルフ。

出身地 東京都 杉並区



宮野 幹生さん

この6月で63才になりました。首のヘルニアで仕事ができなくなりチェンマイにやって来ました。趣味はお酒と気功。気功で未熟ながら多少痛みがとれるようになりました。お酒はお呼びがかかれば万難を排してお付き合い致します。同好会には入る予定です。

出身地 北海道 釧路市



本田 勝さん

昭和から平成に年号が変わる頃バンコックで生活、その時始めたゴルフにのめり込みました。しかし、この5～6年は腰痛の為ゴルフをスッパリ止めて養生。最近腰の状態が良くなりましたので、ゴルフ復活を目指してチェンマイに参りました。よろしくお願い致します。

出身地 千葉県 習志野市



本田 礼子さん

入会させていただきました本田です。文化・芸術などには疎く、食への興味のみ旺盛な私です。スポーツも観戦のみで身を動かすのは大の苦手。主人との共通点は何もない中、やっとみつけたのがゴルフ。60にして初めてクラブを持ち右、左とコースを走るゴルフを楽しんでいます。

出身地 千葉県 習志野市



チェンマイ戦没者慰霊

チェンマイには先の戦争で亡くなられた日本人を弔ういくつかの慰霊碑があります。祖国への帰還の思いも叶わぬまま、傷を負い、病に伏せ、飢餓に苦しみ、儂くも散った私たちの先人の多くがそこに眠っています。

8月15日終戦記念日にあたり、インパール作戦（タイ・ビルマ方面）において、戦病没死されたおおくの方々に対して哀悼の誠を捧げ、また後世を任せられた者としての責任を再認識し平和を誓うものです。（チェンマイ戦没者慰霊祭実行委員会挨拶文）

当日は、バーンガート戦没者追悼の碑（バンガート・ウィタヤコム中高校敷地内）とムーンサーン寺院戦没者慰霊碑の二カ所で開催されました。



バーンガート戦没者追悼の碑

列車に揺られてランプーンへ 黒木みづほ

法人会員レインボートラベルのアヌポンさんによる企画《ランプーンへの列車で行くご招待旅行》があり、チェンマイ在住の多くの日本人がこの旅行に参加しました。

まずチェンマイ駅での盛大なセレモニーから始まり、この旅行のために貸し切られた車両に乗込みランプーンへ。ランプーン駅到着時にもジャスミンの花環のプレゼントや舞踊と太鼓の出迎えを受けました。

パトカー先導で数箇所の時代の重みを感じさせる寺院を見学した後、カントークディナーを頂き、そこで作られている木綿製品に触れてきました。チェンマイから遠くないランプーン県にも、知らなかった素敵な所がたくさんあることを知る旅行になりました。アヌポンさんありがとうございました。



線路は続く～よ♪
ランプーン行き列車からのワンショット

2013年9月度CLL行事予定表

広報部編集会議	毎週月曜日	13:30 ~ 15:00	CLLクラブ事務所
囲碁同好会	毎週木曜日	13:00 ~ 17:00	CLLクラブ事務所
手芸同好会	毎週火曜日	10:00 ~ 12:00	CLLクラブ事務所
コントラクトブリッジ同好会	毎週水曜日	10:00 ~ 12:00	CLLクラブ事務所
タイ語同好会	毎週水曜日	中級 13:00 ~ 14:20 初級 14:30 ~ 15:50 入門 16:00 ~ 17:30	CLLクラブ事務所
英語同好会	毎週月曜日	10:00 ~ 12:00	CLLクラブ事務所
フォト同好会	第2・第4金曜日	10:00 ~ 12:00	CLLクラブ事務所
コーラス同好会	第2・第4土曜日	10:00 ~ 12:00	レストラン「プルーン」
遠隔健康相談 ※	第1・第3金曜日	8:00 ~ 10:00	CLL事務所 (事前申し込み要)
ゴルフコンペ月例会	9月26日(木)	集合 6:40 スタート 7:00	ランナーゴルフ場
定例会	第1・第3土曜日	13:30 ~ 15:30	オーキッドホテル2F

※ <遠隔健康相談> CLL事務所にて、スカイプ（映像と音声）を利用した対話形式で香川大学医学部の担当医師に健康相談を行うものです（相談時間：1人30分）。相談希望者は、庄司会員にメールあるいは電話でお申込み下さい。

第3回サンクラフト・ドール講習会開催のお知らせ

作品名： 「森の妖精」（約2時間で完成します）
 講師： 角田怜子会員
 開催日： 9月13日（金）13:00～15:00
 募集人員： 8名（先着順、CLL会員のみ）
 場所： CLL事務所
 教材費： 300パーツ
 用意するもの： タオル1枚（紙粘土の乾燥を防ぐため）
 小さなハサミ（眉毛切りくらいのもの）
 作品持ち帰り用の紙袋
 申込締切： 9月7日（土曜日）第一例会まで
 申込受付担当： 黒木世話人まで直接お申込みください。
 TEL:085-2583084
 Email: mizuho2795@gmail.com



森の妖精たち

チェンマイ日本国総領事館 053-203367
 (休日・夜間の緊急連絡先) 081-846-8265
 081-809-6074
 チェンマイ入国管理局 053-277510
 警察署 191
 ツーリストポリス 1155
 火事・消防署 199
 メータータクシー 053-279291

チェンマイ大学医学部附属シーパット・メディカルセンター 053-946900~1
 ナッタプルーン・トーンカム（愛称フォン）さん
 (タイ人の日本語通訳)

電話番号便利帳

ランナー総合病院 053-999777
 ナッティダー・サーグアンさん
 (タイ人の日本語通訳)
 チェンマイラム病院 053-920300
 杉本あきらさん 053-920300
 青木裕子さん 同上
 ゲオさん(タイ人の日本語通訳) 同上
 ラジャヴェーチェンマイ総合病院 053-801999
 米山千恵子さん・勝山桃子さん 内線 777
 永江真智子さん 同上
 (緊急時 089-755-2820)
 (勤務時間：月～金：9:00～17:00
 土曜日：9:00～12:00)